

After



暗くて狭かった洗面室が ホテルライクな空間に

左の事例は浴室リフォームの際、暗くて狭かった1坪足らずの脱衣スペースも合わせてリフォームした際のものだ。これまで、脱衣スペースの引き戸を開けたままにしていると、廊下側から洗濯機が丸見えで生活感を醸し出していた。そこで、掃除機と洗面台の位置を交換し、洗面台は人造大理石のカウンターとモザイクタイルを組み合わせ造作で仕上げた。また照明は小さ目の壁付ブラケットを設置し、タイルがキラキラと光るホテルライクな洗面スペースに仕上げた。

40代の女性施主は、「まるで我家じゃないみたい」と大喜びだったそうだ。



Before



掃除が楽になる 洗面ボウルの選び方

造作で洗面台を作る場合は、各洗面ボウルタイプ別にメリット・デメリットを把握しておこう。

洗面ボウルは、カウンター埋め込みタイプと、置き型タイプに大きく分けられる。カウンタータイプには、アンダーとオーバーがある。ボウルのフチ部分がカウンターの上に出ているオーバーカウンターはカウンターとの継ぎ目がフラットで、拭き掃除がしやすい。逆にアンダータイプは継ぎ目に凹凸ができてしまいお手入れがしづらい面も。また置き型タイプの場合は、蛇口一体型を選べば、手についた水滴が蛇口周辺に落ちてもお手入れが楽だ。ポイントを抑えて提案したい。

▶洗面器のフチ部分が拭きやすいオーバーカウンタータイプ



▲蛇口一体型は手入れが楽

▶蛇口分離タイプは蛇口を触った時、水浸しになりやすいという注意点を添えよう



洗面ボウル及びタオルウォーマーは、リラインス/ショールーム ル・ベインにて撮影



タオルウォーマーがあれば 1年中快適な脱衣スペースに

杉山さんが、パウダールームを提案する際に、必ず施主にオススメしているのが、タオルウォーマーだ。

「タオルを温める設備ですが、脱衣を行うパウダールームを放射熱によって効率的に温めるヒーターとしても活躍します。梅雨の時期も空間をドライに保ってくれるので、1年中季節に応じて使用できますよ」



ステンレス製の アクセサリ類が大活躍

タオルバーや、小物を入れるラック類は、プラスチックのものからステンレス製のものにチェンジするだけで、空間がグレードアップする。

「大掛かりなことは必要ありません。アクセサリだけでもこだわって選んで頂ければ、数万円のコストアップで、お客様に喜んでいただけます」

非日常空間の演出は 浴室へのアプローチで決まる

浴室リフォームの際、洗面台や脱衣スペースをトータルでプランニングすることにより、まるでホテルのような非日常的な空間演出に成功しているのが、インテリアリフォームを得意とするL. C. Aインフィニティ(東京都港区)の杉山和佳子さんだ。設備交換に留まらない空間づくりで顧客満足度を高めている。



造作の洗面台が 女性の気分を上げる

「バスリフォームの際は、洗面台や脱衣所といった浴室に入るまでのアプローチ空間もトータルでプランニングしましょう、とお施主様にはよくオススメしています」と杉山和佳子さん。浴室リフォームという点、どうしてもシステムバスを交換して終わりになりがちだ。だが杉山さんは違う。浴室のグレードアップだけでなく、オリジナルで洗面

カウンターを造作したり、浴室と脱衣スペースを一体化させ空間に広がりを持たせたりするプランニング手法で、さらに顧客満足度をアップさせている。「洗面スペースは、服を脱ぎ着したり、洗濯機から衣類を出し入れしたりと、生活感が溢れる場です。狭いスペースにバケツが転がっていたり、洗濯物が溢れていたら気分は上がりませんよね。そこで洗面スペースもお洒落にリフォームすれば、女性がウキウキとお化粧をするようになるなど、洗面スペースにαの役割を持たせられるよう

になります。これらのことをお話すると、特に主婦の方々からは興味を持たれることが多いです」そこで杉山さんは、洗面ボウルや鏡、カウンター、照明など各パーツを組み合わせたオリジナルの洗面スペースづくりに力を入れている。「風呂に入るまでのアプローチが綺麗だと気分も上がりますし、脱衣スペースを綺麗に保とうという意識の向上にも繋がります」女性がイキイキと輝くような洗面室づくりで好評を得ているようだ。

バスリフォームの達人 FILE .2

L. C. A. infinity

東京都港区

杉山和佳子 代表

2003年に、住宅のプランニングやインテリアのコンサルティングを手掛けるL.C.Ainfinityを設立。ホテルライクな空間設計を得意としている。